

## 案①

## みんなの活動が人々をつなぎ、このまちの元気を生み出す 西東京市

〈イメージ〉

産業と日常生活が密接につながり、まち全体に影響を及ぼす

〈意図・特徴等〉

- ・西東京市の「人」と「まち」の両方に焦点を当てる。
- ・事業者や市民等の西東京市に関わる人々の活動の一つ一つが相互に影響を及ぼし、地域のつながりを強めながら、まち全体の活性化とにぎわいの創出を促進していく。
- ・まちの活性化はボトムアップで実現し、一人ひとりの能動的な姿勢によって前に進んでいく。
- ・「このまち」と言うことで、西東京市の存在感を前面に出す。

〈語句の意味〉

#### 「みんな」

- ・事業者、市民、学生、在勤者など西東京市に関わる人々。

#### 「活動」

- ・仕事、買い物、学業、趣味、地域活動、ボランティアなど、西東京市に関わる人々が日常生活で行う様々な物事。

#### 「人々をつなぎ」

- ・様々な活動を通じて西東京市内外の人々が集まり、顔を合わせて会話することで、地域でのつながりを広げていく。
- ・地域の人々とのつながりの中で、自分も西東京市に関わる一人であるという当事者意識が生まれ、人々とまちとのつながりが強化される。

#### 「このまちの元気を生み出す」

- ・人々のあいだにつながりが生まれることで、よりいきいきと暮らし、活動も一層活発化する。
- ・人が元気になることでまち全体も活性化し、にぎわいのある楽しいまちがつくられていく。

## 2 分野ごとの目指す姿

将来像で示した「みんなの活動が人々をつなぎ、このまちの元気を生み出す 西東京市」を実現するため、産業振興マスタープラン後期計画に引き続き、農業・農地に関する「農」分野、商業・サービス・ものづくりに関する「しごと」分野、商店街に関する「商店街」分野、横断的視点であり西東京市のイメージや魅力の向上に関する「西東京市ブランド」分野の4つの分野において、取組みを進めていきます。

各分野における目標は、「分野ごとの目指す姿」として示します。将来像で示したまちをそれぞれの分野の視点から見た姿を示すことで、将来像をさらに具体化します。

#### 将来像

### みんなの活動が人々をつなぎ、このまちの元気を生み出す 西東京市

#### ●「農」

##### 身近な「農」がまちと共生し、次世代に受け継がれる

市内の農地を将来にわたって維持するために、市民が日常的に農業や市内産農産物に親しめ、農地が持つ様々な機能を積極的に活用して、農業・農地の重要性が広く理解されている、みんなで農地を守って受け継いでいくまちを目指します。

#### ●「しごと」

##### 個性豊かな「しごと」が人もまちもいきいきと輝かせる

地域産業が持続的に活性化していくために、事業者等が充実した支援やサポートを受けられ、自分らしい働き方を選択できる環境が整っている、誰もがやりがいや夢を持っていきいきと働き続けられるまちを目指します。

#### ●「商店街」

##### 元気な「商店街」が人々の暮らしを支え、にぎわいを生む

長年にわたって愛されてきた商店街がこの先も変わらず続いていくために、人々の暮らしや価値観の変化に合わせて、新しい物事を積極的に取り入れて商店街の利便性がさらに向上し、便利で楽しい商店街がまちのにぎわいを生み、地域の人々の居場所となるまちを目指します。

#### ●「西東京市ブランド」

##### 魅力あふれる「西東京市ブランド」が人々の誇りとなる

人々の西東京市に対する愛着や誇りをより一層高めるために、特産品やお出かけスポット、イベントなどの地域資源の魅力が市内外に広く発信され、また、新たなまちの魅力の創出や磨き上げも行われている、「西東京市ブランド」がまちの魅力を伝える象徴となるまちを目指します。

## 案②

# ここで生まれる　ここでそだつ　ここでつながる　西東京市

〈イメージ〉  
人々と行政が協力してまちの産業を育てる

- 〈意図・特徴等〉
- ・市民意見をふまえたコンセプト案（第3回委員会資料）の「うみだす」「そだてる」「つなぐ」を活かしつつ、事業者や市民等が主体であることが感じられる形にする。
  - ・西東京市が力を入れて取り組んでいる起業・創業支援もアピールする。
  - ・新規事業の立ち上げから事業承継まで、様々な事業者の活動を通じて産業が市内で循環する様子を示す。
  - ・西東京市を起点として、新たな仕事や活動、商品やサービスなどの様々なものが生まれ、人々がいきいきと過ごす様子を表現。
  - ・「ここで」を繰り返すことで西東京市の存在感を強調し、西東京市なら新しいことややりたいことにチャレンジできるというイメージを持ってもらう。

- 〈語句の意味〉
- ### 「ここで生まれる」
- ・起業したい！という意欲を持った人々が西東京市に集まり、市が提供している様々な起業・創業支援を通じて、地域に根ざした新しい産業が西東京市に増えていく。
  - ・地域課題の解決のため、新しい活動が生まれる。
  - ・人々の生活をより豊かで便利なものにする新たな商品やサービスが生まれる。
  - ・西東京市ならではの魅力が感じられる特産品やスポット、イベントなどが生まれる。

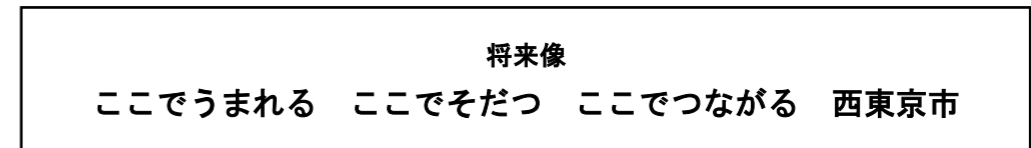
- ### 「ここでそだつ」
- ・西東京市のサポートを受けながら、新規事業や事業の拡大にも取り組めるようにしっかりとした経営基盤をつくり、事業を安定して継続する。
  - ・人々の豊かな食生活と健康を支える西東京市産の農産物が育つ。
  - ・人々の様々な活動を通じて、西東京市の魅力が大きく育っていく。

- ### 「ここでつながる」
- ・市内の事業者が、西東京市内外の様々な主体との交流や連携を通じてつながり、そのつながりの中で得られた情報やアイデアが、新規事業等に発展していく。
  - ・事業承継によって世代交代しながら事業が続いていく。
  - ・人々が農業に親しむ機会が増え、市内の農地が次世代に受け継がれていく。
  - ・地域に顔見知りが増え、人と人とのつながりの中で安心して暮らす。

## 2 分野ごとの目指す姿

将来像で示した「ここで生まれる　ここでそだつ　ここでつながる　西東京市」を実現するため、産業振興マスタープラン後期計画に引き続き、農業・農地に関する「農」分野、商業・サービス・ものづくりに関する「しごと」分野、商店街に関する「商店街」分野、横断的視点であり西東京市のイメージや魅力の向上に関する「西東京市ブランド」分野の4つの分野において、取組みを進めていきます。

各分野における目標は、「分野ごとの目指す姿」として示します。将来像で示したまちをそれぞれの分野の視点から見た姿を示すことで、将来像をさらに具体化します。



- 「農」  
**身近な「農」がまちと共生し、次世代に受け継がれる**  
市内の農地を将来にわたって維持するために、市民が日常的に農業や市内産農産物に親しめ、農地が持つ様々な機能を積極的に活用して、農業・農地の重要性が広く理解されている、みんなで農地を守って受け継いでいくまちを目指します。

- 「しごと」  
**個性豊かな「しごと」が人もまちもいきいきと輝かせる**  
地域産業が持続的に活性化していくために、事業者等が充実した支援やサポートを受けられ、自分らしい働き方を選択できる環境が整っている、誰もがやりがいや夢を持っていきいきと働き続けられるまちを目指します。

- 「商店街」  
**元気な「商店街」が人々の暮らしを支え、にぎわいを生む**  
長年にわたって愛されてきた商店街がこの先も変わらず続いていくために、人々の暮らしや価値観の変化に合わせて、新しい物事を積極的に取り入れて商店街の利便性がさらに向上し、便利で楽しい商店街がまちなぎわいを生み、地域の人々の居場所となるまちを目指します。

- 「西東京市ブランド」  
**魅力あふれる「西東京市ブランド」が人々の誇りとなる**  
人々の西東京市に対する愛着や誇りをより一層高めるために、特産品やお出かけスポット、イベントなどの地域資源の魅力が市内外に広く発信され、また、新たなまちの魅力の創出や磨き上げも行われている、「西東京市ブランド」がまちの魅力を伝える象徴となるまちを目指します。

### 案③

## 「やってみたい！」が見つかるまち ～とともに進み続ける 西東京市～

〈イメージ〉  
新しいことにチャレンジする事業者や市民を応援する

- 〈意図・特徴等〉
- ・多様な事業者や市民等の、新しいことに挑戦しようとする人々を応援するというメッセージを伝える。
  - ・これからチャレンジしていきたいというやる気に満ちあふれた人々が集まることで、周囲も刺激を受けて、より多くの人々がやる気や希望を抱く、という好循環を生む。
  - ・事業者と西東京市が協力して産業を育てていくという、産業振興に対する市の姿勢を示す。
  - ・西東京市が起業・創業や新規事業等にチャレンジする人をスタート前からサポートし、その後も継続してフォローする。
  - ・「創業するなら西東京市」とのつながりも感じられるフレーズを使用する。

- 〈語句の意味〉
- ### 『「やってみたい！」が見つかるまち」
- ・西東京市内の様々な事業者の活動や、西東京市が行っている事業者支援や起業・創業支援などについて知ること、新しい事業展開や起業・創業などの今後やってみたいことや挑戦してみたいことが見つかる。
  - ・起業・創業以外にも、農業や地域活動、ボランティアなどの多種多様な活動に対して、挑戦したいという気持ちが芽生える。
  - ・市内で積極的に活動している人々の影響を受けて、自分も西東京市で何か新しいことに挑戦してみたいと思う人がさらに増えていく。

- ### 「とともに進み続ける 西東京市」
- ・起業・創業を目指す人や、新しいことに挑戦したい市内事業者に西東京市が常に寄り添い、サポートする。
  - ・西東京市は困ったときや悩んだときに頼れる存在であるというイメージを持ってもらう。
  - ・西東京市は、人々に寄り添い協力し合いながら発展を続けていく。

## 2 分野ごとの目指す姿

将来像で示した『「やってみたい！」が見つかるまち ～とともに進み続ける 西東京市～」を実現するため、産業振興マスタープラン後期計画に引き続き、農業・農地に関する「農」分野、商業・サービス・ものづくりに関する「しごと」分野、商店街に関する「商店街」分野、横断的視点であり西東京市のイメージや魅力の向上に関する「西東京市ブランド」分野の4つの分野において、取組みを進めていきます。

各分野における目標は、「分野ごとの目指す姿」として示します。将来像で示したまちをそれぞれの分野の視点から見た姿を示すことで、将来像をさらに具体化します。

**将来像**  
**「やってみたい！」が見つかるまち ～とともに進み続ける 西東京市～**

- 「農」  
**身近な「農」がまちと共生し、次世代に受け継がれる**  
市内の農地を将来にわたって維持するために、市民が日常的に農業や市内産農産物に親しめ、農地が持つ様々な機能を積極的に活用して、農業・農地の重要性が広く理解されている、みんなで農地を守って受け継いでいくまちを目指します。

- 「しごと」  
**個性豊かな「しごと」が人もまちもいきいきと輝かせる**  
地域産業が持続的に活性化していくために、事業者等が充実した支援やサポートを受けられ、自分らしい働き方を選択できる環境が整っている、誰もがやりがいや夢を持っていきいきと働き続けられるまちを目指します。

- 「商店街」  
**元気な「商店街」が人々の暮らしを支え、にぎわいを生む**  
長年にわたって愛されてきた商店街がこの先も変わらず続いていくために、人々の暮らしや価値観の変化に合わせて、新しい物事を積極的に取り入れて商店街の利便性がさらに向上し、便利で楽しい商店街がまちのにぎわいを生み、地域の人々の居場所となるまちを目指します。

- 「西東京市ブランド」  
**魅力あふれる「西東京市ブランド」が人々の誇りとなる**  
人々の西東京市に対する愛着や誇りをより一層高めるために、特産品やお出かけスポット、イベントなどの地域資源の魅力が市内外に広く発信され、また、新たなまちの魅力の創出や磨き上げも行われている、「西東京市ブランド」がまちの魅力を伝える象徴となるまちを目指します。